

## インドネシア原子力関係者幹部 日本招聘

JICC は 2025 年 2 月 24 日から 3 月 1 日の期間に、インドネシアの国家エネルギー委員を団長としてエネルギー・鉱物資源省、PLN（国営電力会社）、国立研究イノベーション庁、再エネエネルギー協会、バントン工科大学等原子力導入検討を推進している原子力関係者幹部を日本に招聘した。

### 【経緯/目的】；

インドネシア政府は脱炭素目標達成（2060年までにカーボンニュートラル）に向け再生可能エネルギー（水素・アンモニアの利用、太陽光、地熱、風力、水力）の拡大とともに 2032年までに 250MW 規模の SMR 原子力発電導入に向け国家エネルギー計画を策定中とのことであるが、今回の日本招へいを通し、日本の原子力発電の現状と今後の原子力発電及び原子力産業界の動向について理解を深めていただく。

### 【結果】；

- ① 日本原子力発電敦賀発電所、福井県の PA 活動の拠点である福井原子力センターあっとほうむの視察、経済産業省資源エネルギー庁原子力政策課国際協力室との意見交換を行い、日本の原子力発電事業の現状を理解いただくとともに、駐日インドネシア大使表敬訪問を行い日本とインドネシアの原子力分野における協力関係について意見交換を行った。
- ② 日本原子力発電本店、IHI・日揮グローバル（JGC）、日立 GE ニュークリアとの意見交換を行い、原子力産業界の動向の理解を深めていただいた。



日本原子力発電(株)敦賀発電所にて



福井原子力センターあっとほうむにて



METI エネ庁原子力政策課国際協力室にて